



～大戸川ダムの事業効果や事業進捗を紹介～

# 大戸川沿川地域の防災訓練で事業説明

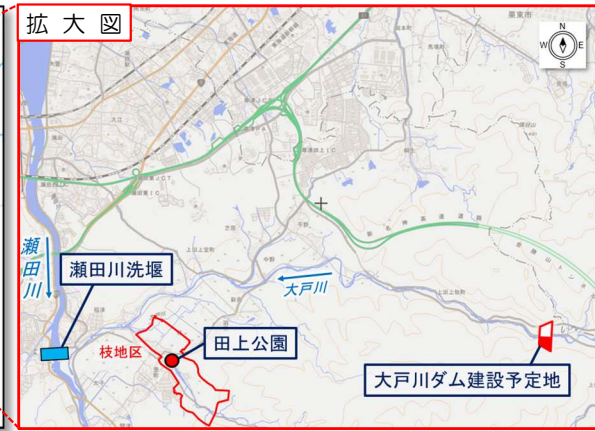
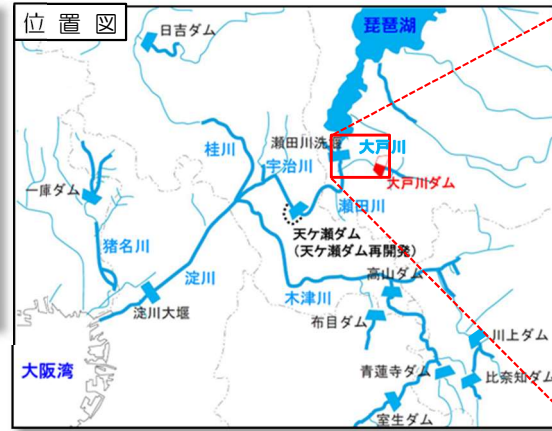


大戸川ダム工事事務所

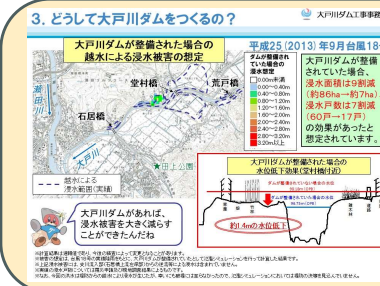
R7.2.21

- 滋賀県では、滋賀県流域治水条例に基づく「水害に強い地域づくり」の取り組みとして住民向けの出前講座を実施しており、今回、大戸川沿川（大戸川ダム下流域）に位置する田上（たなかみ）学区の枝（えだ）地区防災訓練において、大雨時の避難計画について説明が行われました。
- 今回の防災訓練に合わせて、大戸川ダム建設事業についても説明の要望があったため、事業効果や事業進捗について説明を行いました。

【実施日時】 令和7年2月16日（日） 9時00分～9時45分  
 【場所】 田上公園（滋賀県大津市枝3丁目）  
 【参加者】 ○枝地区住民 約50名  
 ○滋賀県 2名  
 ○大戸川ダム工事事務所 3名



事務所の若手職員が説明を行いました！

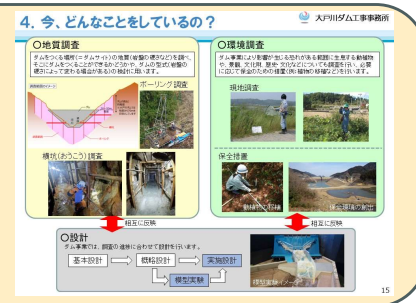


**事業効果について説明**  
 大戸川ダムが整備された場合、洪水時に大戸川沿川の浸水被害を軽減させる効果があるほか、天ヶ瀬ダムと一体となり、宇治川・淀川沿川の浸水被害を軽減させる効果もあります。



## 事業進捗について説明

現在は、洪水調節地内にある道路の付替に向けた調査・設計や、ダム本体工事の実施に向けた調査・設計を行っています。



## ～ご参加いただいた皆さまからの感想～

- 普段は水を貯めず、洪水時のみ貯水する「流水型ダム」となることが分かった。
- 大戸川ダム事業は停滞していた期間も長かったので心配していたが、完成に向けて着実に事業が進んでいることが分かった。

## 【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局  
 大戸川ダム工事事務所 調査設計課  
 〒520-2144 滋賀県大津市大萱一丁目19-32  
 077-545-5675（代表）

